

令和5年度指定管理者業務モニタリング評価表

施設名	穂の国とよはし芸術劇場
所在地	豊橋市西小田原町123番地
指定管理者	公益財団法人豊橋文化振興財団
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
担当課	文化・スポーツ部「文化のまち」づくり課(0532-51-2873)
令和4年度指定管理料(決算)	66,351千円
令和5年度指定管理料(決算見込)	67,405千円

項目		基準	評価				
管理業務の実施状況に関する項目	維持管理業務の実施状況	仕様書等に基づき施設の適切な維持管理業務が行われているか。	維持管理業務は特別目的会社が行っている。				
	自主事業等の実施状況	事業計画書等に基づいた施設の設置目的に沿った事業が実施されているか。	国の補助金を活用しながら舞台芸術の鑑賞機会を創出するとともに、若手音楽家育成事業などの舞台芸術人材育成事業などを実施している。				
	人員配置等の業務体制	仕様書等で定めた人員配置がなされているか。また、労働環境が関係法令等を遵守した適正なものとなっているか。	事業計画書のとおり適切に人員配置がなされており、労働環境は関係法令等が遵守され適正なものとなっている。				
	職員研修の実施状況	事業計画書等に従い職員研修が実施されているか。	事業計画書に基づき定期的に研修が実施されている。				
	個人情報保護の措置状況	協定書の個人情報保護規定に基づき、個人情報が適正に管理されているか。	協定書等の個人情報保護規定、公益財団法人豊橋文化振興財団個人情報保護規定に基づき適正に管理されている。				
	緊急時対応への取組状況	緊急時の連絡体制があり、かつ訓練等が実施されているか。	マニュアル、非常連絡網が整備され、定期的に避難訓練等も実施されていることから、十分な取り組みがなされている。				
施設利用	施設利用の許可状況	利用者の公平な選考を確保しているか。	利用者の決定は、規則・要綱に則り適正に行われている。				
	施設利用状況	前年度と比較した利用者数等についてはどうなっているか。(利用状況を数値化して令和4・5年度を比較)		R3年度	R4年度	R5年度	比較(R5-R4)
			開館日数	349日	349日	350日	1日
			利用者数				
			a. 主ホール	58,115人	75,836人	90,601人	14,765人
			b. アートスペース	22,200人	27,237人	30,642人	3,405人
			c. 創造活動室	11,809人	15,470人	19,142人	3,672人
			d. 研修室	8,641人	8,693人	12,380人	3,687人
			e. 交流エリア	23,033人	28,620人	32,299人	3,679人
	計	123,798人	155,856人	185,064人	29,208人		
		【要因分析】 コロナも令和5年5月8日に感染症の分類が季節性インフルエンザと同じ5類相当となり、利用件数は前年度比で610件、利用者数で29,208人増加した。利用者数は、令和4年度比では、主ホールで119.5%、アートスペースで112.5%、全体では118.7%となり、全体としては回復傾向ではあるものの、新型コロナウイルス感染症の影響前となる令和元年度比では、主ホールで89.1%、アートスペースで91.1%、全体では80.7%となり、回復には至っていない。					

状況に関する事項	サービス向上等への取組状況	施設PRやサービス向上の取組みは実施されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページやメールマガジン、劇場SNS、劇場広報誌、まちなか図書館トークイベントをはじめとする各種広報活動により、イベント情報の発信、施設PRを効果的にを行っている。 ・劇場の特性を活かした自主事業の実施により、利用者サービス、施設の認知度向上に努めている。 ・映像配信用の備品の配備にともない、前年度に引き続き映像配信講座や映像収録講座の実施および、映像配信機材の備品利用者への指導・サポートに努めている。 ・芸術文化に関する高い専門性と豊富な経験、知識を有する職員を配置することで、質の高い舞台芸術公演を実施し、市民の鑑賞体験を蓄積するとともに、市内外からの来場者を増やすことでまちなか活性化にも貢献している。 			
	利用者満足度調査結果	利用者への満足度調査(アンケート)等を実施し、業務改善を実施しているか。(指定管理者が自ら行ったアンケート結果に基づく)	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査の実施 施設運営に関する総合的な感想 とても満足・まあ満足…82.2% 普通…11.9% とても不満・やや不満…0.5% 無回答…5.4% <p>満足度について評価が高く、快適に利用できる環境となっている。</p>			
	意見箱等	意見箱等に寄せられた具体的な意見	内容	対応		
			平日の公演を増やして欲しい。	—		
			講演会において受付の対応が悪かった。	貸出先のスタッフのため、対応できず。		
苦情・トラブルへの対応	利用者の苦情等への対応は適切であったか。	適切かつ迅速に行われている。				
管理経費等の収支状況等	経費等の執行管理状況	資金の適正な管理と経理内容の明確化が実施されているか。	資金管理は確実に行われている。また、指定管理業務とその他の業務を区分し、適正に管理されている。			
	経費等の収支状況	収支状況が収支計画書と乖離していなかったか。	指定管理業務については概ね収支計画書通りの収支状況となっている。自主事業については支出の方が大きくなっている。			
			収入の部	支出の部		
			指定管理料	67,405千円	指定管理事業費	121,948千円
			利用料金収入	39,918千円	自主事業費	36,636千円
			自主事業収入	26,480千円		
			その他収入(支援補助金等)	17,590千円		
収支差額		-7,191千円				
指定管理者の提案事業の実施状況	<p>主な自主事業として以下の事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○JACROW「ざくろのような」「つながるような」 令和5年7月8日(土)・9日(日) アートスペース 3回公演 入場者数250名 ○シス・カンパニー公演「ヴィクトリア」 令和5年7月11日(火) 主ホール 1回公演 入場者数716名 ○「ピエタ」 令和5年8月9日(水)・10日(木) 主ホール 2回公演 入場者数1,435名 ○ミュージカル「天翔ける風に」 令和5年10月19日(木)～22日(日) 主ホール 4回公演 入場者数2,462名 ○□字ツク「剥愛」 令和5年11月22日(水)・23日(木・祝) アートスペース 2回公演 入場者数323名 ○若手音楽家育成事業「ワンコインコンサート」 令和5年5月～令和6年3月に9回のコンサートをアートスペースで実施した。 入場者数1,348名 ○ピアノ試し弾き 令和5年5月～令和6年3月に9回実施した。参加者数92名 ○年間プログラム説明会・年始告知イベント 令和5年4月30日(日)・令和6年1月3日(水)の2回実施。参加者数190名 					

当年度の対応方針	<p>新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけ変更など、変化する状況に柔軟に対応し、引き続き芸術文化に触れる機会の提供や人材育成事業の拡充を図るとともに、芸術文化を活用した地域連携活動など、より一層「第6次豊橋市総合計画」の実現に寄与するような取り組みを実施し、新規利用者の獲得につなげることを期待する。</p>
指定管理者の自己評価	<p>穂の国とよはし芸術劇場は開館11年目の開館10周年を迎え、自主事業や貸館事業により多くの利用者を受け入れる芸術文化交流施設として、演劇、ダンス、音楽を通じて市民の文化的生活を向上させる公共の場を提供し続けている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症は5類相当となり、利用者の増加とともに賑わいの回復が感じられるようになった。アルコール消毒液を引き続き設置するなど、豊橋市や公立文化施設協会のガイドラインに準じるとともに、利用者に対して適切できめ細やかな対応と情報発信に努めた。</p> <p>収支状況については、新型コロナウイルス感染症の影響により減少していた貸館利用は回復傾向となり、利用料収入は予算額の95%となった。また、支出においては、引き続き電気代をはじめとする光熱費が高止まりしたことに加え、人件費の上昇等の影響を受けた。光熱費については契約電力の見直しを行うとともに、豊橋市からの支援補助金で一定の穴埋めが出来たものの、人件費の上昇を背景とする一部委託費の上昇等の影響もあり、収支は赤字となった。</p> <p>自主事業としては、国の助成金も活用しながら「大竹しのぶ一人芝居」や「ピエタ」、ミュージカル「天翔ける風に」など大型の演劇公演を開催し、いずれも好評だった。またJACROW「ざくろのような」、口字ツク「剥愛」などのアートを活用した小劇場演劇等も開催し、鑑賞機会の拡大に努めた。その他、東三河高校演劇部支援や若手音楽家育成事業などの舞台芸術人材育成事業などを実施し、東三河市民の芸術文化活動の拠点として安心して市民の方が楽しんでいただける機会を継続することができたものと評価している。</p>
総合評価	<p>新型コロナウイルス感染症は第5類相当となったが、アルコール消毒液を引き続き設置するなど、利用者に対して適切できめ細やかな対応に努め、利用者の回復にも努めている。</p> <p>自主事業についても、国の助成金も活用しながら、市民に舞台芸術に触れる機会を提供し続けるとともに、アートを活用した小劇場演劇等を開催し、鑑賞機会の拡大に努めた。舞台芸術人材育成等の芸術文化の振興と市民の交流という劇場本来の役割を果たすとともに、市の目指す中心市街地活性化にも貢献している。</p>
次年度の対応方針	<p>芸術文化に触れる機会の提供や人材育成事業の拡充を図るとともに、芸術文化を活用した地域連携活動など、より一層「第6次豊橋市総合計画」の実現に寄与するような取り組みを実施し、新規利用者の獲得につなげることを期待する。</p>